

令和2年度
リカレント教育に対する
高等教育機関の取組み

【富山大学】

- ・令和2年度学部入学生から数理データサイエンス教育を必修化、社会人向けにも公開講座「社会人のためのデータサイエンス入門」を新たに開講するなど実践的な科目を拡充。令和2年度から高校生以下の受講料を半額とし、若年層の受講生を増加させることにより講座の活性化を図る。
- ・大学の授業約800科目を一般市民に開放する「オープン・クラス（学士課程、修士課程）」の実施。
- ・産業界と連携し、企業の技術を統括するリーダー・世界に通用する専門技術者を育成する「次世代スーパーエンジニア養成コース」を実施。本学教員が大学院レベルの専門的基礎知識を講義する専門技術論5コースと県内企業のキャリアエンジニアが企業での実例をもとに講義する産業技術論6コースを開講。
- ・地域課題をビジネスで解決する地域再生人材を育成する事業を魚津市・呉西6市・和歌山県田辺市で実施し、さらに県内他地域への展開を計画する。
- ・自治体の抱える課題・ニーズに添って、行政職員に特化した研修プログラムを大学教員が出張して提供する行政研修を本格稼働する。
- ・これら事業の上位に、大学院の組織再編（令和4年度）を位置づけ、現役世代が高度な知識・技術を身に着けるための実務者向けプログラムを構築するとともに企業や自治体と連携し、仕事を続けながら受講できる制度の構想を練る。

【富山県立大学】

- 社会人向けセミナーを前年度から1コース増の9コース開講予定
(工学部で8コース、看護学部で1コース)
 - ・主に20～30代の若手技術者を対象とし、基礎的知識の習得を支援する「若手エンジニアステップアップセミナー」は4コース開講予定
 - ・技術者を対象とし、最新の知識・技術の習得を支援する「先端技術リカレント教育セミナー」は5コース開講予定
 - ・「先端技術リカレント教育セミナー」に今年度新たに文系のコースを開講（経済・法律など）
 - ・平日夕方5～10回程度開講　・定員20名×9コース
 - ・受講料10,000～20,000円
 - ・7月中下旬から受講者の募集を開始し、秋頃の開講を予定

【高岡法科大学】

- ・市民向けイブニングセミナーとして、改正された民法を詳しく学べる講座「民法が変わる」（全4回）や、憲法の基礎概念をもう一度原点から学び直す講座「憲法の原点」（全4回）を開講予定
- ・また、春から秋にかけて公開講座として、多岐にわたる学問分野の平成から令和にかけての変遷を辿る「平成と令和」（春季4回、秋季4回）や「法と文学—その隙間を埋めるもの／繋ぐもの—」（全4回）を開講予定
- ・その他、リカレント教育に関するアンケート調査で、学びたい法律スキルとしてあげられていた、「会社法」、「労働法」、「税法」関連の講座を令和2年度後期または令和3年度から開講する方向で検討中

【富山国際大学】

下記のようなリカレント教育講座の開催を検討中。

- 人生100年時代を生きるための社会人として有用な教養を学べる講座
社会人基礎力を伸ばすリカレント教育を望む声が多い企業アンケート結果を踏まえ、ストレス社会を生き抜き、豊かな人生を送るための講座を開設。
- Society5.0に関する講座
IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼす先端的技術が、様々な産業や社会生活に入り込むことに対して、私たちはどう付き合っていけばよいのかを考察する講座を開設。
- 国際社会の理解を深める講座（語学なども含む）
日中両国は隣国で、文化も近く、ともに漢字を使う国同士だが、互いに相手を真に理解できる人が少数であるのが現実である。中国語に触れ、中国人の考え方などを学ぶ異文化への理解を深めるための講座を開設。

【富山短期大学】

- 厚生労働大臣指定の専門実践教育訓練給付指定講座の積極的活用に向けた情報発信
指定講座：栄養士養成課程、保育士養成課程、介護福祉士養成課程
- 介護福祉士実務者研修科の積極的活用に向けた情報発信
 - ・前期・後期の開講（6ヶ月、各期募集定員28名）
 - ・社会人を対象とした通信制講座（一部スクーリングを実施）
 - ・修了者は介護福祉士国家試験受験資格（実技免除）が得られる
- 学科主催の講座・セミナーの実施
 - ・福祉・介護フォーラム、健康福祉学科リカレントセミナーなど
- 文部科学省ポータルサイト「まなパス」による情報公開

【富山福祉短期大学】

本学における社会人向け教育プログラムについては、以下のものを実施予定。

- ・（介護職）実務者研修（4月期・5月期・6月期・7月期・9月期・10月期開始の6プログラム）
- ・介護職員等による喀痰吸引研修（基本研修および実地研修）
- ・教員免許状更新講習6講座
- ・履修証明プログラム（臨床美術士専修プログラム、社会福祉専修プログラム、カウンセリング専修プログラム、心理学専修プログラム国際観光専修プログラムの5プログラム）および科目等履修・聴講制度
- ・臨床美術士資格取得講座（5級講座、4級講座）
- ・地域つくりかえ講座（公開講座）（各テーマに沿って計28講座）
- ・高岡市・砺波市・南砺市・富山市・氷見市の各自治体と連携しての臨床美術講座の開催

【富山高等専門学校】

- ・リカレント教育受講希望者が、科目等履修生として本校の専攻科科目を受講しやすくなるよう、授業15コマの構成を見直す等の取組を検討

(ご意見)

- ・富山大学と本校が共同で実施している「次世代スーパーエンジニア養成コース」は、複数の機関が協力して人的資源を出している先導的な事例のひとつであり、当コースのスキームをモデルとして、各機関による連携・協力の下、リカレント教育のアンケート調査で要望が高かった分野に特化した教育プログラムを作ることができれば 各機関にとって教員の協力を得やすく、また、企業にとっても従業員を参加させやすいのではないかと。
- ・また次世代スーパーエンジニアは、授業に出席する時間が多くなるため従業員の負担が多く、どうしても参加者が大企業に限定される。
- ・各企業への出前授業を体系化し、補助することができれば中小企業向けのリカレント教育が充実するのではないかと。
- ・各高等教育機関の人的・物的資源は有限であることから、県内でリカレント教育を推進し、持続的に実施していくためには、教職員の協力、企業の理解、そして県の支援が不可欠である。